

平成28年5月16日

国際生物多様性の日(5/22)シンポジウム
「街のなかから生き物たちにつながるために」を開催します
パークスガーデンにて「ミニ観察会」も同時開催

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、グループ経営方針のひとつに「環境重視」をかかげ、事業活動を通じて常に環境への影響に配慮し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動しています。その一環として、生物多様性の保全を官民協働で推進していくことを目的に、大阪府・岬町・大阪府立環境農林水産総合研究所と「おおさか生物多様性パートナー協定」を締結しています。

そしてこのたび、大阪府が進める生物多様性の普及啓発キャンペーンのキックオフイベントとして、国際生物多様性の日である5月22日（日）に、多くの方に生物多様性について知っていただくことを目的としたシンポジウムを開催します。大阪市立天王寺動物園など、生き物に関する施設の専門家による講話や対談のほか、なんばパークスの屋上庭園・パークスガーデンで「ミニ観察会」を実施します。

詳細は別紙のとおりです。

<おおさか生物多様性普及啓発キャンペーン>

大阪府では、平成28年度、生物多様性への府民理解を一層促進することを目的として、府内の集客力の高い生物多様性関連拠点施設等と連携し、身近で効果的な生物多様性の普及啓発キャンペーンを展開します。具体的には、統一チラシやのぼり、ホームページなどによる生物多様性に関するイベントなどの一斉広報や関連施設を周るスタンプラリーなどを計画しています。



パークスガーデン入り口



ガーデン内

別紙

1. シンポジウム「街のなかから生き物たちにつながるために」について

(1) 開催日時

平成28年5月22日（日） 14:00～16:00

(2) 開催場所

なんばパークス7階「パークスホール」

(3) 内 容

- おはなし「どうぶつのために動物園が挑むこと」 高見一利（大阪市立天王寺動物園）
- 対 談「動物園・植物園・博物館の楽しみ方」 高見一利（大阪市立天王寺動物園）
飯野盛利（大阪市立大学附属植物園）
- 進行 佐久間大輔（大阪市立自然史博物館）
- 大阪の生物多様性を見る・知る・学ぶ・楽しむ 山本義彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）

(4) 定 員

100人（当日先着順・参加無料） ※小学生以下は、保護者の同伴が必要

(5) 主 催

大阪府、南海電気鉄道株式会社、大阪生物多様性保全ネットワーク

2. パークスガーデン「ミニ観察会」について

シンポジウムに先立ち、大阪市立自然史博物館学芸員の案内でパークスガーデンの観察会を行います。

(1) 開催日時

平成28年5月22日（日） 13:00～

(2) 集合場所

なんばパークス2階 パークスガーデン入り口

(3) 定 員

30人（当日先着順・参加無料） ※小学生以下は、保護者の同伴が必要

【ご参考】

○パークスガーデン（なんばパークス）について

パークスガーデンは、商業施設「なんばパークス」の屋上庭園であり、面積約11,500㎡、約500種、約10万株の植物が年間を通してお客さまをお迎えしています。病害虫については人力で駆除を行うほか、落ち葉などでの堆肥作りなど、地域の生態系に配慮したサステイナブルな管理を続けています。

環境への貢献度などから、これまでに下記のとおり表彰されています。

年度	主催・表彰の種類など	受賞内容
平成17年度	都市緑化技術開発機構	屋上緑化大賞 国土交通大臣賞
平成24年度	米誌「Travel+Leisure」	世界で最も美しい都市公園
平成24年度	土木学会賞	環境賞
平成25年度	大阪・光の饗宴2013	みんなで選ぶ大阪・光のアートアワード第1位
平成26年度	日立環境財団	第41回「環境賞」優良賞
平成26年度	エンジニアリング協会	エンジニアリング功労者賞
平成26年度	公益財団法人都市緑化機構	都市のオアシス認定緑地
平成28年度	一般社団法人日本建築学会	2016年日本建築学会賞（業績）